

板屋町区防災マップ 計画規模

立退き避難が必要となる家屋等の表示（マーク）


- 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋（該当する家屋は確認されませんでした）
- 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋


計画規模の降雨とは、概ね 30 年から 100 年に 1 度程度の確率で発生する降雨により河川が氾濫した場合、浸水域および浸水深を表しています。最大規模の降雨とは、概ね 1000 年に 1 度程度の降雨を想定しています。


注意
立退き避難が必要な家屋表示（マーク）がされていない家屋でも、浸水被害エリア内の場合は、安全な段階に指定の避難場所へ避難して下さい。深夜や降雨等により避難することが困難な場合は、2 階以上の場所で身を守ってください。
尚、避難は原則徒歩で！


板屋町会館は浸水するため避難はしないでください
※土嚢袋の備蓄あり


凡例

避難所 

避難場所 

防災無線 

消防団小屋 

A E D 

浸水深表示

- 0 ～ 0.5m 未満
- 0.5 ～ 1.0m 未満
- 1.0 ～ 3.0m 未満
- 3.0 ～ 5.0m 未満
- 5.0 ～ 1.0m 未満



大雨時にとるべき行動

情報の種類と行動の目安

小浜市では住民の皆様の避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。

災害時に支援の必要な方が近くにおられる場合は、お互いに助け合って避難しましょう。

避難情報など		防災気象情報
警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合には、可能な範囲で発令。 小浜市が発令
警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令。 小浜市が発令
警戒レベル 3	避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 気象庁が発令
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発令

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5 では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3 や **警戒レベル4** で、
地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。

洪水発生時の行動マニュアル

浸水の深さ／状況

- 10.0m以上
- 5.0～10.0m未満（2階の屋根以上が浸水）
- 3.0～5.0m未満（2階部分まで浸水）
- 1.0～3.0m未満
- 0.5～1.0m未満
- 0.3～0.5m未満（床下浸水）
- 0.0～0.3m未満

※浸水深は、計算メッシュ(5mまたは10m)ごとに計算された浸水位から地盤高を差し引いた値を地盤高メッシュごとに表示しています。なお、浸水深はメッシュの平均値であり、場所によっては表示以上となる場合があります。

余裕をもって安全な避難経路を確保！

必ず避難！

必ず避難！

むやみに移動しない

早期の立退き避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域
浸水継続時間が長い区域

水平避難
浸水しない安全な場所へ（指定緊急避難場所、高台の道路、空地など）


垂直避難
2階以上または危険のない近くの高い建物へ

屋内安全確保
むやみな移動はかえって危険
建物内のより安全な部屋などへ

家屋の浸水を軽減する方法

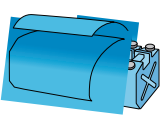
ゴミ袋による簡易水のう

ゴミ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結し、土のうと同じように使用します。



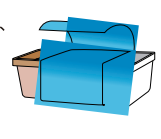
ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結し、土のうと同じように使用します。



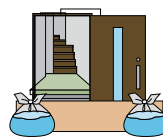
プランターとレジャーシート

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み連結し、土のうと同じように使用します。



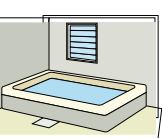
止水板

出入り口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。



風呂の貯水

下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。



トイレや洗濯機などの排水溝

水を入れたビニール袋を置いておくと、排水溝から逆流してくる泥水を防げます。

